

秋田自動車道
岩沢地区家屋事前調査

特 記 仕 様 書

令和7年10月

東日本高速道路株式会社
東北支社横手工事事務所

第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	受注者相互の協力	2
1-6	計画工程表	3
1-7	調査等打合簿の作成及び提出について	3
1-8	成果品	3
1-9	保安に関する事項	4
1-10	環境保全に関する事項	4
1-11	ウィークリースタンスの取組み	4

第2章 業務細部に関する事項

2-1	家屋事前調査	6
2-2	家屋事前調査の区分	6
2-3	材料費等	6
2-4	打合せ	6
2-5	交通費・宿泊費	7
2-6	成果品	7

第3章 補足事項

3-1	現地立ち入りについて	8
3-2	補償費について	8
3-3	設計図書の変更及び追加が予想される内容	8

添付資料

- 様式1 工程表
- 様式2 履行期間通知書

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 秋田自動車道 岩沢地区家屋事前調査

1-1-2 道路名 秋田自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 岩手県北上市和賀町岩沢 (S T A. 4 7 + 0 0)
至) 岩手県北上市和賀町岩沢 (S T A. 4 9 + 0 0)

1-1-4 主な履行内容

現地踏査	1 式
家屋事前調査	1 式
打合せ	1 式

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とし、用地関係調査仕様書（令和6年10月版）の第2編 地盤変動影響調査等業務標準仕様書及び第4編 用地関係調査の発注に係る秘密保持に関する標準特記仕様書、地盤変動影響調査算定要領（別冊）を適用するものとする。各仕様書の適用区分は次のとおりとする。

名称	適用区分
調査等共通仕様書	1-17-6「身分証明書交付願」以外の項目
用地関係調査仕様書	上記調査等共通仕様書の適用区分に定められている事項を除く

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。

なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13-1「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。

なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。

また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、「履行期間通知書」（本特記仕様書様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 240 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	備考
秋田自動車道 北上西～錦秋湖間水文調査	令和 6 年 9 月 13 日～ 令和 8 年 4 月 5 日	日本工営株式会社	隣接施行
令和 7 年度 秋田自動車道 北上西～湯田間水文調査	未定	未定	隣接施行
秋田自動車道 トンネル工事	未定	未定	隣接施行 (施工)

1-6 計画工程表

1-6-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の「計画工程表」(本特記仕様書様式-1) の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項目	単位	備考
現地踏査	式	
家屋事前調査	棟	木造建物
打合せ	式	

1-6-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1-7 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内(休日等を除く)に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内(休日等除く)に受注者へ返送するものとする。

1-8 成果品

共通仕様書 1-46-1 「成果品」によらず下記のとおりとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね 30 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合簿にて監督員に報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など(当該調査等以降に実施される業務)に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。

なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

1-9 保安に関する事項

1-9-1 調査等車両の運行

現道を走行する調査等車両は、交通関係法（道路交通法、道路運送車両法、道路法）を遵守するものとする。

1-9-2 調査等車両の区別

受注者は、調査等の実施に使用するすべての車両に関し、以下に示す表示を行わなければならない。

なお、表示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならない。

調査等車両表示板参考図

秋田自動車道 岩沢地区家屋事前調査 調査用車両 受注者名（□□）

材質：耐水合板、強化プラスチック、
布製又はラミネート加工した印刷物等

色彩：黄色地に黒文字

寸法：前部標示板

乗用車等：A4サイズ

トラック、ダンプ等：A4サイズ

後部標示板

トラック、ダンプ等：30cm×90cm

その他の全車両：A4サイズ

字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、
他の文字より大きめにする）

□□：調査等車両の通し番号

1-10 環境保全に関する事項

1-10-1 砂塵等の防止

受注者は、調査用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

1-10-2 騒音等に関する配慮

受注者は、調査等業務に伴う調査用機械及び車両の騒音対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて作業を行わなければならない。

1-10-3 環境保全に関する費用

本特記仕様書1-10「環境保全に関する事項」の費用については諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

1-11 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行すること

により、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取り組みであり、本業務において積極的に取り組むこととする。

取り組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取り組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取り組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 家屋事前調査

本業務は、秋田自動車道4車線化工事に先立ち、周辺地域において建物等の配置及び状況について調査を行うものである。

2-2 家屋事前調査の区分

契約項目による区分は次のとおりとする。

項目	建物の用途
木造建物 A	専用住宅、併用住宅、店舗、医院、診療所、共同住宅（アパート）、寄宿舍、その他これらに類するもの
木造建物 C	工場、倉庫、車庫、体育館、畜舎、附属家、その他これらに類するもの ただし、倉庫、車庫、附属家等で附帯工作物として取り扱うことが相当なものを除く

なお、鉄骨系、コンクリート系、木質系のプレハブ造の建物については、木造建物に準ずるものとし、これによらない場合は別途監督員と協議するものとする。

建物延べ面積及び工作物敷地面積による区分は次のとおりとする。

項目		区分内容
木造建物	1	70㎡未満
	3	130㎡以上200㎡未満
	4	200㎡以上300㎡未満
	5	300㎡以上450㎡未満

調査方法による区分は次のとおりとし、これによらない場合は別途監督員と協議するものとする。
なお、家屋事前調査に先立ち実施する建物内部調査の実施可否ヒアリングの結果、拒否されたものについては、別途数量変更を行うものとする。

項目	区分内容
(a)	建物外部の調査を行うもの
(b)	建物内部の調査を行うもの

2-3 材料費等

材料費等は、トレース印刷費（図面、報告書等の成果品作成のためのトレース、浄書等及び印刷、陽画焼付、製本、写真代）及び消耗品（用紙、ファイル、フィルム等の購入費）を計上するものとする。

2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は、業務内容確認検査・完了検査を含め4回とする。また、その内の1回は現地踏査時に合わせて行うものとする。なお、打合せの検測数量は1式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要性が生じる場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。また、ウェブカメラ及びウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

完了検査はウェブ方式にて行うため交通費・宿泊費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査がウェブ方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協

議し定めるものとする。

2－5 交通費・宿泊費

交通費・宿泊費には、打合せ及び現地踏査、家屋事前調査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。

なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取り扱いは監督員と受注者との協議の上、決定するものとする。

2－6 成果品

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

第3章. 補足事項

3-1 現地立ち入りについて

現地立入の際は、事前に監督員と迅速な連絡を行わなければならない。

3-2 補償費について

調査実施に伴う踏荒し補償費、立木伐採補償費及びこれらに伴う立会謝金を土地所有者に支払う事態が発生した場合の取扱いについては監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

3-3 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、現地状況等により変更または追加する可能性があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 地元協議の結果に基づく、業務内容の変更及び追加
- (2) 現地踏査結果による、業務内容の変更及び追加

秋田自動車道 岩沢地区家屋事前調査 設計工程表 (案)

【様式-1】

1家屋事前調査

(全体履行期間)
(実施履行期間)

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)
令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)

項 目	日 程	計画準備	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
1.調査計画																														
2.既往資料(貸与資料)の確認・整理																														
3.現地踏査 家屋事前調査																														
4.施工への送り事項																														
5.照 査																														
6.成果品作成																														
7.監督員による成果品確認																														
8.電子成果品作成																														
9.打合せ																														
10.業務検査・完了検査																														

3関連業務

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	実施会社名	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			備 考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1.地形地質																													
1.〇〇自動車道 △△地区付加車線道路設計		有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月																										
2.〇〇自動車道 〇〇地区用地詳細測量		有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月																										
3.〇〇自動車道 〇〇地区用地詳細測量		有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月																										
4.〇〇自動車道 ☆☆~〇〇間水文調査		有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月																										

4関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1.交通管理者協議																												
道路	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
河川	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
用水路	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
排水路	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
水運	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
2.警察協議	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
3.地元協議	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									
4.その他懸案事項協議	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																									

5その他懸案事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1.〇〇に関する技術的検討	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	受注者																						
2.〇〇に関する技術的判断	有・無	〇年〇月 ~ 〇年〇月	発注者																						

6協議内容、結果等

協議内容経緯等	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者
		②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

①適切な工程管理(履行期間の確保)を図ることを目的とする。

②関連する調査業務や設計業務ならびに関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示・対外協議の期間を明確化する。

③協議時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、打合せ時期・内容に工程上の遅れがないよう確認する。

④所定の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した原案作業が実施されているか確認する。

⑤本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計との照合、品質の確保を図る。

⑥なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項

①関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと。

②協議時などによる遅延の場合工程上のリザル・カラムを明示すること。

③工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

様式-2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3-2. 受注者が設定した業務の終期)